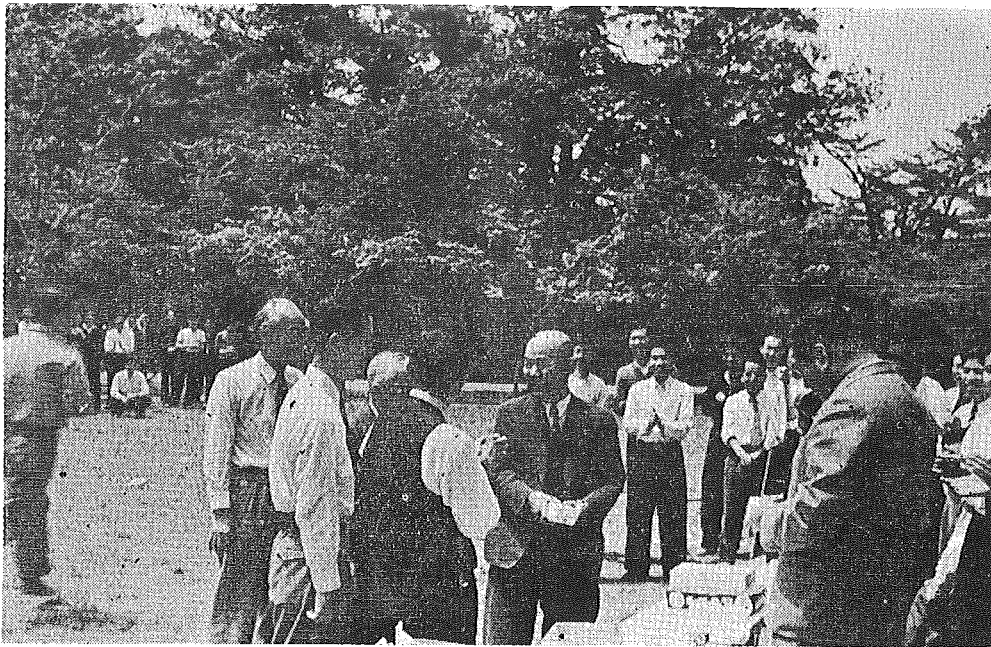


洛友會の報

京都市左京區吉田
京都大学工学部
電気科教室内
洛友會



ほほえましき 体育大会 (記事参照)

母の日に

寄せて

昭二九 飯塚啓吾

やがて晩春の淋しさを送り木々の若葉に、苗代の早苗に、薫風を追つて燕の飛び交う初夏を迎えようとしています。私はこの軽快そのものゝような燕を見る度に毎度時を同じうして飛来する故郷の我が家の軒に巣を作る燕が思い出されます。

営々として土を運んで巧妙な巣を作る。そしてやがて雛が生れ、親燕が食物を運ぶ毎に一瞬子燕たちは黄色い口を大きく開いて、わめき立つ、親燕は順位をあやまたず一羽に与えて早々として餌を求めて飛び去る。雛は一齊に口を閉ちて親燕が帰るまで沈黙を続ける。こうした営みが一夏続けられて初秋の清澄な大気に親に見送られながら子燕たちが飛び去るのでありますが、私がまだ幼少の頃のこの燕の生無我夢中で凝視していますと私のそばへ母が近寄つて来て「あの燕を御覧、親というものはたゞ一筋に子供を立派に育てる事のみ一生懸命ですですよ。そして、やがて子燕が一人前になつて飛び去つて行く姿を見て充分満足しているのですよ。それが本当の愛と言うものです。燕のお母さんは何も子燕が大きくなつたら自分に親孝行をして貰おうとは思つて居りません。又老後を見て貰おうとは思つて居りません。若し人間がそんな事を子供に要求するならば動物にも劣るお母さんなのです。だからお母さんはお前が早く一人前になつてお前の思うように自由自在に活躍して貰えれば一番嬉しいのです」こんな会話を思い出すのであります。

こうした会話を聞いてから十年余りの春秋が流れて私も人並みの分別を持つていくと、うぬぼれる程に成長しましたが、今若しこの話を立場を引つ繰り返して考えて見れば、若しも我々人間の子が「お母さんお父さん有難うございました。では左様なら」では子供の側が今度は燕以下に落ちて了うことに気が付きました。燕の子は母の恩に對してどう感じて居るか判りませんが、私たちが人間であり、万物の靈長としての人の子として燕の子と異なる処がなければなりません。私も子供はその年令に應じて、その境遇に準じて、能力に呼応して孝養の道を歩み終生我が子を養育愛撫する母の鴻恩に応えなければなりません。母が子を愛する心を以て心として、その母を愛する事だと思ひます。これは言うべくして行ひ難きものでありましようが、少くともこの理念だけは失いたくないと思ひます。人口に膾炙した歌人啄木の「たはむれに母を背負ひてそのあまり軽きに泣きて三歩歩まぬ」の歌が思い出されて感慨無量なものがあります。偉大なる母の慈愛を礼讃しつゝ筆を擱きます。

山陰の旅

松田長三郎

(大学院二回生)

今回、照明学会副会長であり、中国支部創設の功労者でもある真田安夫さん(中国電力取締役、昭和二年卒)からお招きを受けて学会創立四十周年、支部創立五周年記念行事の一環として全国に越えて貰つた。講演や電力事情を見せて貰つた。旅などと言うと大変ですが、急行出張号では大阪から五時間半で鳥取に着くという快適な汽車の旅、尤も米子までに百二十幾つかのトンネルがあるそうであるから、その電化が望まれている。

鳥取、鳥根両県下は山が多く、耕地は一〇%位、車窓に展開する日本

海の海の眺め、山の姿、幸に天候に恵まれて、晴れやかな明るい景色を楽しんだ。点綴する民家も立派な家が多く民度も高いように思われた。道理で電気洗濯機、井戸ポンプなどの需要が多いと言う。

鳥取市中に温泉が湧くという事は知る人も少なからう。郊外の有名な大砂丘、幅三四キロ、延々十六キロに及ぶ景観は正に天下一品、こゝでも観光と開発利用とのデレンマがある。三期温泉近くに最近ウラン鉱脈の発見は大きなホープ、話題を投じている。

大山の景観はさすが裏日本唯一の国立公園の名に恥ぢない。あの雄大な山と海のは展望素晴らしい。あのスロープは夙にスキーヤーには著名であるが、更に、辨水原に新しいキャンプの設営に因も県も地元も大いに留意して居られる。開発の先駆は先づ給電である。真田さんが見えるというので当局の方々が待ち構えて現地に詳細な説明を聞いた。宗教的にも教育的にも意義あるこの所に將來日本を背負つて立つ青少年のための清純なキャンプがやがて出来るものと期待せられてはいる。

伝説、神話に富んだ国、出雲松江は落ちついた都会、松平不昧公以来のお茶所、役所へ行つても先づ一服。松江城の豪宕、不昧公の別墅菅田庵の静寂、小泉八雲の旧居を訪れては神国日本の精神、風物に心酔した明治中期の落ちついた生活を偲び郷愁を覚えた。往昔の懐古を乗り越えて明日へ進まねばならぬ。去る三月新装成つた中国電力松江支店の近代装備を誇る偉容が明日への力強い躍進を期しているように思われた。旅中、真田さん、木曾さん、その他各地の方々の御厚意を心から深謝している次第です。

洛友会東京支部總會

五月晴れと言いたい...

次いで鳥養会長は人間の肉体的な...

その後、橋本真吉氏のユーモアに...

閉会后、明治会は東電科学研究所...

昭和会は各年度毎に或は合併して随...

出席者名簿

Table with columns for names and numbers, listing attendees like 多田 耕象, 岡村 金蔵, etc.

懇話会体育大会

電気工学科 電子工学科

夜来の雨もカラリと晴れ渡つた五...

Table listing names and numbers for the sports event, including 松橋 達良, 岩谷 英一, etc.

燃え、それを反映してか、全教職...

表彰状

右は昭和卅一年度懇話会運動会に...

表彰状

教職員チーム

Decorative area with calligraphy and illustrations of a rooster and a bird.

右のチームは昭和卅一年度懇話会
野球大会に於て相手チームの相次ぐ
失策により好機に恵まれ上加茂の守
の天祐神助を得て優勝する事が出来
たので之れを賞する

昭和卅一年五月十一日
懇話会々々長 大久保達郎
尚、右の表彰状にある問題(？)の
賞品は山村幹事殿の御配慮により洛
友会より寄贈せられたものである事
を附記して満腔の謝意を表する次第
である。
(追記)
懇話会では右の大会の成績に鑑
み、野球・テニス等に自信を持ち先

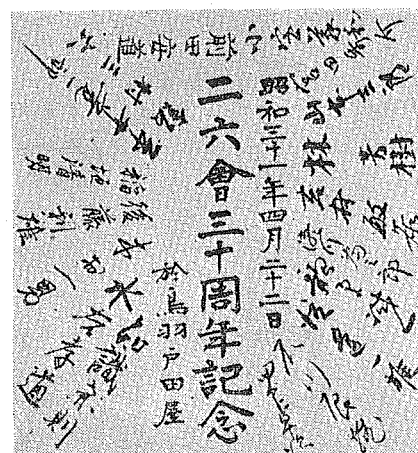
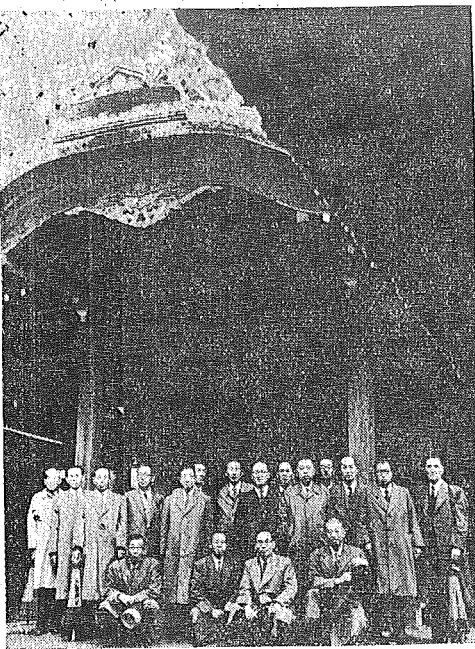
二六会

三十週年記念クラス会

大正十五年(一九二六年、第二六回)卒業の二六会
では予て計画を進めて来た三十週年記念クラス会を四
月廿二日国立公園伊勢志摩に於て開かれた。参加者は
東京方面を始め九州方面に亘り寄せ書人名の如く十八
名(出席率六〇%)の盛会であつた。

先づ近畿日鉄終点宇治山田駅前の料亭大喜店に参々
伍々午前中に参集、三十年振りに再会の挨拶する者あ
り、集合場所を忘れて出発した珍談やら種々談笑中に
会食。午後は貸切バスにて伊勢神宮参拝、内宮神楽殿
前にて一同記念撮影後二見浦を巡遊、車中案内の伊
勢音頭を聞きながら鳥羽浦に至り旅館戸田屋に入つ
た。

夜の懇親会では美女の唄を聞き踊りを見ながら、水
入らずの気楽さから日頃の訓練の腕を發揮して酒の
進むにつれ唄に踊りに余技が百出(後日の脅迫材料に
ピントを向ける者あり)時の過ぎるのを忘れ、さては
麻雀に囲碁、談笑等と夜も短く自分の寢室を忘れるユ
ーモアもあつた。



翌廿三日は奥志摩探勝を計画、朝九時に鳥羽を発ち
鵜方町にて電車を降り英虞湾(一名真珠湾)のリラス
式海岸の景を眺めながら浜島町の国際観光旅館南風荘
に向つた。折悪しく雨天であつたので附近の散策は出
来なかつたが鳥羽浦の内海の景色と浜島湾の大洋的景
色との良きコントラストを愛でることが出来た。旅館
にては新鮮な海草や魚を珍味し午後

陸路を帰る者(小風雨中、舟を恐る
者あり)数名と別れ遊覧船にて英
虞湾を横断、途中富士真珠工場を見
学、養殖真珠の工程を詳細に調査
後、賢島に上り志摩観光ホテルにて
最後の食事を共にした。
かくて二日間に亘り寝食行動を共
にしたので互いに三十年昔の気分に
変わり気易く息子の入学、就職、娘の
嫁入り(孫を持つてゐる者もあるが、さ
すがに孫の話は出なかつた)の話か
ら教室での実験室の話、テニスの話
等と尽きる事なきま、五年後の会合
を約し三十余時間に亘る行動を閉じ
た。
(田中記)

輩各位からの他流試合の申
込みを歓迎している。我れ
と思わん方々はチームを編
成の上申込まれよ。

懇話会文化講座 の新設について

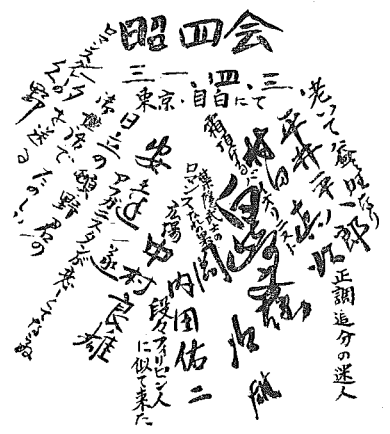
懇話会では古くから学生
の一般教養を高めるために
種々の催しを行つていたが
今年は大久保会長の下に新
しい構想で学生のための行
事を計画している。その一
つとして文化講座を設け各
方面の専門家を招き、毎週一回講演
をお願いする事になつた。

講師の選定等は総て学生が主体と
なつて活動して居り、第一回は五月
八日工学部桜田教授の「纖維よもや
地話」第二回は五月十五日理学部宮
地教授の「猿の社会性」について、
それぞれ興味あるお話を伺つた。

五月廿三日には文学部桑原教授の
「フランス文学について」の話があ
る予定である。今後文学・医学そ
の他各方面に亘つて講座が続けられ
る事になつてゐる。懇話会は財源に
乏しきため講師への謝礼については
山村幹事殿の御配慮により洛友会を
煩わした。こゝに御礼を兼ね御報告
申し上げます。尚、先輩諸兄にも講
演を御依頼する事があると思われ
が、その節は宜しく願ひ上げます。

東京支部趣味のサークル 團基郡春季季大会

五月三日 十時より二十時
(場所) 港区芝田村町一丁目三
美松書房三階團基郡
(出席者) 十四名。松本氏、井上氏
早退。日本棋院武田先生(二段)の指
導團基がありました。
戦績
關山四段 S 22
4/4
2 等級



会費領収

三月十一日より
五月十五日まで
到着の分

昭四	松本	純治
一七	天野	寛徳
二〇	美野	敬己
二五	横川	勝之
二八	京次	福井 常勝

昭大	昭和廿九年度(第十三回)
一四	佐藤 純雄
一六	松本 純治
四四	野田 武夫
五五	村岡 順二
六六	細江 正章
一一	山口 高雪

